

2050年カーボンニュートラル行動計画施策一覧

基本方針	基本施策	施策	取組事項	効果	市民	事業者	行政	期間	担当課	備考	
【基本方針1】 再生可能エネルギーの導入拡大と効果的な活用	【1-1】 木質バイオマス設備の導入	①ペレットストーブ・薪ストーブの導入	ペレットストーブ・薪ストーブを導入する	A	○	○	○		耕地林務課・施設所管課		
			施設導入に対する支援を継続・充実する	B			○		耕地林務課		
		②木質バイオマスボイラーの導入	家庭用の木質バイオマスボイラーを導入する	A	○				耕地林務課		
			事業用の木質バイオマスボイラーを導入する	A		○	○		耕地林務課・商工振興課		
			木質バイオマスボイラーの設置に対する支援を検討する	B			○		耕地林務課		
		目標（指標）	ペレットストーブ（一般・公共）の設置台数	R2	499台	R12	769台				
			薪ストーブ（一般・公共）の設置台数	R2	1042台	R12	1294台				
	木質バイオマスボイラー（一般・公共）の設置台数		R2	27台	R12	178台					
	【1-2】 太陽光を活用した設備の導入	①太陽熱を利用した設備の導入	給湯や暖房用の太陽熱利用システムを導入する	A	○	○				生活環境課・施設所管課	
			施設導入に対する支援を継続・充実する	B			○		生活環境課		
		②太陽光発電設備の導入	自家消費のための屋根載せ太陽光発電設備を導入する	A	○	○	○			生活環境課・施設所管課	
			ソーラーカーポートや営農型太陽光発電を導入する	A	○	○	○			生活環境課・農政課	
			PPAモデルによる太陽光発電設備を導入する	A	○	○	○			生活環境課	
			余剰電力を有効に活用するための蓄電池を導入する	A	○	○	○			生活環境課・施設所管課	
		施設導入に対する支援を検討する	B			○			生活環境課		
	目標（指標）	太陽熱利用システム設置に対する補助件数	R2	181件	R12	413件					
	【1-3】 小水力発電の導入	①農業用水路を活用した小水力発電の導入	農業用水路へ小水力発電やマイクロ水力発電を設置する	A	○	○				耕地林務課	
			施設導入に対する手続き等の支援を行う	B			○		耕地林務課		
		②工業排水等を活用した小水力発電の導入	冷却等で利用した排水を活用して小水力発電を設置する	A		○				商工振興課	
			事業用の水資源の給水管へ小水力発電を設置する	A		○				水道整備課・商工振興課	
		施設導入に対する手続き等の支援を行う	B			○			商工振興課		
	目標（指標）	小水力発電施設の設置数	R2	2基	R12	5基					
	【1-4】 バイオマス発電の導入	①木質バイオマス発電の導入	木質バイオマス発電施設を設置する	A		○				耕地林務課	
			施設導入に対する手続き等の支援を行う	B			○		耕地林務課		
		②有機バイオマス発電の導入	牛の糞尿を活用した有機バイオマス発電施設を設置する	A		○				農政課	
			施設導入に対する手続き等の支援を行う	B			○			農政課	
	目標（指標）	バイオマス（木質・有機）発電所の設置数	R2	0基	R12	3基					
【1-5】 再生可能エネルギーの利活用	①再生可能エネルギーの調達	地域新電力等を活用しCO2フリー電気を購入する	A	○	○	○			生活環境課		
		地域新電力等は再生可能エネルギーの地産地消を促すとともに、不足分は地域外からの調達に取り組む	A		○				生活環境課		
	②再生可能エネルギーの活用	地域マイクログリッドの構築に向けた検討を行う	B		○	○			生活環境課・施設所管課		
		V2H、V2B、VPP等の導入に向けた検討を行う	B	○	○	○			生活環境課・施設所管課		
		RE100や再エネ100 Re Actionへの参加を促進する	B		○	○			総務課・生活環境課		
		再生可能エネルギーに関する新技術の導入の検討を行う	B		○	○			生活環境課・施設所管課		
		地中熱や下水道熱、温泉熱等の活用を検討する	B		○	○			生活環境課・施設所管課		
中小零細企業の脱炭素経営に対する支援策を検討する	B			○			商工振興課				
目標（指標）	公共施設におけるCO2フリー電気の受給施設数	R2	2施設	R12	9施設						

## 2050年カーボンニュートラル行動計画施策一覧

基本方針	基本施策	施策	取組事項	効果	市民	事業者	行政	期間	担当課	備考
【基本方針2】 省エネルギー対策 とゼロカーボンの 推進	【2-1】 省エネルギー製品の購 入	① L E D照明への更新	家庭や事業所の照明をL E D照明に更新する	A	○	○	○		生活環境課・施設所管課	
			駐車場や公園等の防犯灯・街路灯をL E D照明に更新する	A	○	○	○		生活環境課・施設所管課	
		② 省エネルギー機器への 更新	電化製品（冷蔵庫やテレビ、エアコンなど）を購入する時は省エ ネ性能が高い製品を購入する	A	○	○	○		生活環境課	
			設備導入に対する支援策を検討する	B			○		生活環境課・商工振興課	
		目標（指標）	公共施設の照明のL E D化率	R2	23.5%	R12	100.0%			
	【2-2】 省エネルギー施設の導 入	① 建物の高断熱化・省エ ネ化	建物の高断熱化等（ZEH・ZEB）を行う	A	○	○	○		生活環境課・商工振興課・施設所管課	
			省エネ診断により省エネ改修等を行う	A	○	○	○		生活環境課・商工振興課・施設所管課	
		② 高効率設備の導入等	高効率設備を導入する	A	○	○	○		都市整備課・商工振興課・施設所管課	
			電気による設備を導入する（電化）	A	○	○	○		生活環境課・商工振興課・施設所管課	
			高効率設備や設備の電化に対する支援策する	B			○		都市整備課・商工振興課	
			伊那市役所エコオフィス活動実行計画を推進する	B			○		都市整備課	
		目標（指標）	公共施設の省エネ改修実施施設数	R2	0施設	R12	3施設			
		既存住宅の断熱改修件数	R2	8件	R12	100件				
	【2-3】 省エネルギー行動	① 日常生活における省エ ネ行動	必要のない照明やテレビはこまめに消す	B	○	○	○		生活環境課	
			エアコンのフィルターをこまめに清掃する	B	○	○	○		生活環境課	
			カーテンやブラインドにより断熱効果を高める	B	○	○	○		生活環境課	
			敷地の緑化やグリーンカーテンにより温度上昇を抑える	B	○	○	○		生活環境課	
			冷蔵庫に物を詰め込みすぎないようにする	B	○	○	○		生活環境課	
			給湯器のお湯を流したままにしない	B	○	○	○		生活環境課	
			クールビズやウォームビズを実践する	B	○	○	○		生活環境課	
			うちエコ診断により省エネを実践する	B	○	○	○		生活環境課	
			「COOL CHOICE」を理解し賛同及び実践する	B	○	○	○		生活環境課	
		目標（指標）	エコ・ポイント活動への参加者	R2	0人	R12	3000人			
	【2-4】 環境教育の推進	① 環境学習の機会の提供	保育園や学校での環境学習を推進する	B			○		子育て支援課・学校教育課	
			環境学習の場の提供や支援を行う	B			○		生活環境課	
		目標（指標）	子どもエコツアーの実施率	R2	46.7%	R12	100.0%			

基本方針	基本施策	施策	取組事項	効果	市民	事業者	行政	期間	担当課	備考
【基本方針3】 持続可能な地域環境の整備	【3-1】 食品ロスの削減	① 市民の食品ロス削減の取組み	買い物では必要な食品を必要な量だけ購入する	B	○				生活環境課	
			買い物では「手前取り」を実践する	B	○				生活環境課	
			調理の際に皮などを過剰に除去しない	B	○				生活環境課	
			食材を無駄なく使いきるレシピなどを参考に調理をする	B	○				生活環境課	
			食べきれる量だけ調理する	B	○				生活環境課	
			外食の際は、食べきれる量を注文する	B	○				生活環境課	
			食べ残した料理は注意事項を確認し持ち帰って食べる	B	○				生活環境課	
			3010運動を理解し宴会などで取り組む	B	○				生活環境課	
			消費期限までに食べきれない食品はフードバンクを活用する	B	○				生活環境課	
			家庭での食品ロスの量を計量する	B	○				生活環境課	
			市全体の食品ロスの状況を把握する	B			○		生活環境課	
		② 食料品取扱事業者の食品ロス削減の取組み	食品ロス削減への取組みロゴマークを表示する	B		○			生活環境課	
			小分けメニューや小盛メニューを採用する	B		○			生活環境課	
			持ち帰り用の容器により適切な方法での持ち帰りを推奨する	B		○			生活環境課	
	やむを得ず生じた食品廃棄物は堆肥化などにより再利用する		B		○			生活環境課		
	市全体の食品ロスの状況を把握する		B			○		生活環境課		
	目標（指標）	市内の「食べ残しを減らそう県民運動～eプロジェクト～」協力店数	R2	46店舗	R12	200店舗				
	【3-2】 廃棄物の減量化・資源化	① ごみの減量化への取組み（リデュース）	「3きり（使いきり・食べきり・水きり）運動」を実践する	B	○	○	○		生活環境課	
			商品の過剰包装を抑制し簡易包装を普及させる	B	○	○	○		生活環境課	
			マイバッグ、マイボトル、マイ箸などを活用する	B	○	○	○		生活環境課	
			生ごみ処理容器等購入補助金等による堆肥化を実践する	B	○	○	○		生活環境課	
			市報や市公式HP等を通じてごみ減量を啓発する	B			○		生活環境課	
		② 資源循環への取組み（リユース・リサイクル）	ごみの分別（古紙類、衣類、小型家電等）に取り組む	B	○	○	○		生活環境課	
			フリーマーケットなどを活用し再使用に取り組む	B	○	○	○		生活環境課	
			廃棄物の再資源化に向けた検討を行う	B	○	○	○		生活環境課	
			ごみ分別アプリや市報等によるごみ分別の啓発に取り組む	B			○		生活環境課	
		目標（指標）	一人一日当たりのごみ排出量	R2	499.9g	R10	469.0g			
	資源化率	R2	16.38%	R10	24.80%					
	【3-3】 脱プラスチック	① 使い捨てプラスチックごみの削減	エコバックやマイボトルを使う	B	○	○	○		生活環境課・各課	
			詰替製品や量り売りの商品を購入する	B	○	○	○		生活環境課・各課	
			買い物の際はプラスチック製レジ袋の提供を断る	B	○	○	○		生活環境課・各課	
			使い捨てのプラスチック製スプーンやフォークの提供を断る	B	○	○	○		生活環境課・各課	
		② プラスチック製品の代替品の活用	経木や麦ストロー、ヘチマたわしなどプラスチック製品に代わるものを使う	B	○	○	○		耕地林務課・農政課・生活環境課	
プラスチック製品の代替品を検討する			B		○			各課		
目標（指標）		市内のエコバックの活用率（コンビニは除く）	R2	61.5%	R12	80.0%				
		経木の出荷数（累計）	R2	235千枚	R12	4000千枚				
	麦ストローの出荷数（累計）	R2	1000本	R12	14200本					

## 2050年カーボンニュートラル行動計画施策一覧

基本方針	基本施策	施策	取組事項	効果	市民	事業者	行政	期間	担当課	備考
	【3-4】 環境に配慮した移動	① ゼロカーボン・ドライブ	E V（電気自動車）やP H E V（プラグインハイブリッド自動車）、F C V（燃料電池自動車）等の普及に取り組む	A	○	○	○		総務課・車両保有課・生活環境課	
			バス・トラック等の大型車や重機の電動化に取り組む	A		○			商工振興課	
			充電設備の整備に取り組む	A		○	○		生活環境課・施設所管課	
		② 移動に係る環境負荷の低減	エコドライブに取り組む（エコドライブ10のポイント）	B	○	○	○		生活環境課・各課	
			徒歩や自転車、公共交通を利用する	B	○	○	○		生活環境課・企画政策課	
			電動バイク・電気自転車を利用する	B	○	○	○		観光課・生活環境課	
		目標（指標）	公共施設へのEV充電ステーションの設置	R2	0施設	R12	5施設			
			公用車の更新におけるEV等の導入率	R2	-	R12	100%			
	【3-5】 水素エネルギーの活用	① 水素ステーションの設置	水素の供給源となる水素ステーションを設置する	A		○			商工振興課・産業立地推進課・生活環境課	
			水素ステーション設置に向けた支援策を検討する	B			○		商工振興課・生活環境課	
		② 水素の活用	F C V（燃料電池自動車）を導入する	A	○	○	○		総務課・生活環境課	
			日常生活のエネルギー源や非常用電源等への水素の活用方法を検討する	B		○	○		生活環境課・各課	
		目標（指標）	水素ステーションの設置	R2	0箇所	R12	1箇所			
		【3-6】 森林整備と森林資源の活用	① 伊那市50年の森林ビジョン	市民参加型の自然環境保全活動へ参加する	C	○	○	○		耕地林務課・生活環境課
	50年の森林ビジョンに沿った計画的な森林整備を実施する			C		○	○		耕地林務課	
	② 森林活用による環境負荷の低減		木質バイオマス施設を導入する（施策1-1参照）	A	○	○	○		耕地林務課	
			カーボンオフセット事業へ取り組む	C		○	○		耕地林務課	
	目標（指標）		市内の森林の間伐面積	R2	470ha/年	R12	600ha/年			